

パオちゃん's EYE

2019年8月1日発行 No.29

ノコギリクワガタ



ノコギリクワガタのオスの変異（第3展示室「昆虫の世界」）。

令和の時代になって、はや3か月が経ちました。天皇陛下即位に伴い、皇后になられた雅子さまについて、小学校時代の恩師で日本蛾類学会会長の岸田泰則さんがインタビューに答えられていたニュースを見ました。雅子さまは子どものころから生きものが好きで、岸田さんに連れられて昆虫採集に出かけていたそうです。そして、結婚後、お住まいの東宮御所（現赤坂御所）では、ノコギリクワガタをなんと水槽15ケース分も飼育されていたとか。

ノコギリクワガタは僕も大好きです。クワガタのように簡単には見つからず、木の高いところにいることが多いので、子どものころは簡単には見つけれないクワガタでした。さらに、大あごが強く曲がった大きなオスは、捕まえることができれば学校で一躍ヒーローになれるくらいの代物でした。

ノコギリクワガタは幼虫時代の成長の度合いによって成虫の大きさが決まり、同時にオスの大あごがさまざまな形に変化します。子ども向けの図鑑には大きなオスの写真しか載っていないことが多く、形の異なる小さなオスでは同じ種類とは思われず、しばしば混乱を招きます。第3展示室「昆虫の世界」では、ノコギリクワガタのオスの成虫を小さなものから大きなものまで並べて同種内の変異がわかる展示をしています（写真）。展示されている9匹は当館に収蔵されている200匹以上のノコギリクワガタからバランスよく選ばれた標本です。

奥島雄一（昆虫担当）

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう！ パオより

